

(別紙4(2))

事業所名 愛の家 グループホーム 筥松

目標達成計画書

作成日: 平成 25年 03月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	夜間の非常災害時に、夜勤者2人で、18人の利用者を避難誘導し、安全な避難場所で待機することは、利用者の重度化が進む中では、困難な場合もあるので、職員の駆けつける救済体制の見直しと、近隣住民の協力の要請を確立していく。	夜間想定避難訓練を、近隣住民の協力や参加を得て、利用者の見守り等をお願いし、職員の非常時における連携体制を強化し、緊急時の連絡体制を見直し、利用者が安全に避難できる体制を確立していく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族の意見の反映	職員や利用者が、異動や離職で変わることが、利用者や家族に不安を与え、不信感に繋がる場合があるので、利用者や家族が安心して過ごせる環境を確立していく。	行事を兼ねた家族交流会を、定期的開催し、家族だけで話し合う時間をつくり、同じ悩みや心配事を話し合い、共有して、信頼関係を築き、事業所や職員との信頼の絆に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。